



※Grüß Gott! (グリュース・ゴット) は南ドイツでの挨拶



私は Belinda Prei Binger (ベリンダ・プライスィンガー) と申します。小学校の頃から先生や友人などにピリーと呼ばれております。怒られるときしかベリンダと呼ばれないので、「ベリンダ」と呼びかけられると、思わずびっくりしてぎくりとしてしまいます。また、ピリーと呼ばれるより反応が遅いです。

8 月から熊本市役所のシティプロモーション課で国際交流員として働くことになりました。私はニュルンベルク市とバイロイト音楽祭で有名なバイロイト市の真ん中にあるペグニッツ市出身ですが、大学に通っていたのは私の大好きなライプツィヒ市です。3 年間そこで生活しており、出身地について聞かれるとき、ニコニコしながら大きな声で「ライプツィヒ！」と答えるほどライプツィヒ市は私にとって第二の故郷になりました。ライプツィヒ市はドイツ史の様々な時代に大切な役割を果たしたため、歴史的な建物も多く、観光するのにとても楽しい都市です。

熊本市に初めて来たのは 2 年前でした。私はドイツのお城がとても気に入っているため、ヨーロッパ風と違う日本のお城にも興味を持つようになりました。訪ねた友達の実家は福岡県だったので、九州にある最も綺麗なお城に連れて行ってもらいました。昨年、愛知県に留学していたとき、日本のお城をたくさん見に行きましたが、今でも犬山城の次に熊本城が好きです。市役所の事務所の窓から毎日熊本城を見ることができるのでとても幸せです。

私は(ドイツ人らしく)サッカーの大ファンであり、来日する前にサッカーワールドカップが行われたため、大学生で最後の夏はサッカーに関する思い出ばかりです。ドイツ代表が W 杯で優勝した夜はライプツィヒ市内で朝まで大騒ぎでした。私も友達と一緒にビールを飲みながら、優勝を祝いました。ドイツでは 2006 年の W 杯に試合のチケットを取ることができなかった人のために考えられた策として「パブリックビューイング」で見る習慣があります。パブリックビューイングとはスタジアムや街頭などにある大型の映像装置を利用して観戦を行うイベントのことです。試合が行われているスタジアムのような雰囲気、試合観戦を楽しむことができるので試合をスタジアムまで見に行くより家の近くにあるパブリックビューイングで見る方が便利で、安く楽しめます。これから、ドイツの文化や生活を紹介するイベントをたくさん催したいと思っています。私自身が行うドイツ語サロンも月 1 回ありますので是非遊びにきてください。そして、その際には日本、九州、熊本について色々教えていただければ嬉しいです。



ライプツィヒ市の風景



ハイデルベルクでのパブリックビューイング